

平成27年度福島県立相馬養護学校 タブレット端末を活用した地域との連携事業（2年次）

平成27年度公益財団法人福島県学術教育振興財団助成対象事業

<事業の紹介①>

【相馬市立桜丘小学校4年生との交流および共同学習における取組】

6月12日に桜丘小学校（※以下：桜丘小）との本年度1回目の交流および共同学習（※以下：交流）を実施しました。この交流は本校が相馬市立養護学校の時から現在までの長い期間継続し、毎年2回の交流を実施しています。学習は「事前の学習・当日の交流・事後の振り返りと次回に向けての準備・2回目の交流・振り返り」という流れで展開します。交流係担当者間で、「目標、内容、計画、配慮点、事後の反省、評価 等」の話し合い、連絡調整を数回行い、「子どもたちが生き生きと活動し、交流を深め、両校児童が豊かな人間性を育んでいくこと」をめざして取り組んでいます。

昨年度の交流からタブレット端末（※以下：端末）を交流の目標・本校児童の実態に応じて効果的に活用する試みを始め、本年度も継続しています。以下に1回目の交流について、端末の活用も含めて様子を紹介します。

【事前学習の様子】



交流は本校児童1名と桜丘小児童3～5名とで1班になって活動します。事前に本校児童一人一人の自己紹介カードや「好きなこと、やりたいことなど」の資料を渡し、桜丘小の各班で、当日に何を行うのか児童主体で話し合いました。また、班ごとに端末にメッセー

ジVTRを撮影してもらいました。VTRは本校で学級ごとに端末に記録して配布しました。上記タイトルの助成事業により大型TVも活用できることになり、本校児童は1人で端末を使ってVTRを見たり、学級全員で見たりしました。桜丘小児童たちが名前を呼んでくれたり、「待ってるよー、楽しく遊ぼうねー。」などと話してくれたりする映像を見て本校児童たちは笑顔になり、当日をとっても楽しみにしていました。

【当日の様子】



当日は、桜丘小校4年生児童3学級2クラスが桜丘小で本校児童15名を迎え、本校7名の児童が桜丘小1クラスを迎え、両校を会場に実施しました。事前に両校で自己紹介カード、メッセージVTRを見ていたことで、自分の班の友達をすぐに見つけて活動を始める様子が多く見られました。



桜丘小では、折り紙や粘土で思い思いの物を作り合ったり、広い校舎を探検する本校児童を案内したり、シャボン玉やボール遊びをしたりなど、班ごとにたくさんふれ合いました。

本校では、ブランコや回転遊具に乗った本校児童のペースに合わせて押したり・回したり、また、築山やジャングル

ジムまでの広い範囲で追いかっこをしたりとたくさん体を動かして交流していました。室内では、端末につないだボタンを本校児童が押して名前を呼んだり、交互にゲーム操作をしたり、キャスターカーでゆっくり引っ張ったりと班ごとに楽しく交流できました。

本校では、本年度から訪問教育で学習している児童がいます。交流の後半に、自宅と教室でTV電話をつなぐと、桜丘小児童は端末に映っている児童に手を振り、自宅では端末につないだモニター画面の友達に向かって児童が手を伸ばし、「2回目は学校で会おうね。」と気持ちのふれ合いをすることができました。

終わりの会で感想を発表し合い、早くも10月に行う2回目を楽しみにしている様子が伝わりました。

